

ペットの健康管理(ネコ編)

病気・ケガの治療などで、獣医師の指導でお薬を飲ませたり、目薬を点したりケアが必要になった場合、日頃から体のどの部分を触っても嫌がらないように慣れさせておくことが楽になります。毎日体に触れることで、健康状態のチェックも出来ますし、信頼関係を深める事にも繋がります。ただし、嫌がることを無理矢理行うのではなく、最初は徐々に体を触れさせることに慣れさせて下さい。決して押さえ込んだり、無理強いをしないように。ご褒美に好きな食べ物などを利用してもよいでしょう。

猫の目薬の点し方と口の開けさせ方ご参考。

1. ネコの目薬の点し方



動物を台などの上に置き、背中側に立ち左手(聞き手の反対の手)を動物のあごの下に入れ、顔を少し上に持ち上げる。(写真1)

右手(きき手)に目薬を持ち、右手の小指の付け根とあごの下に入れた左手で顔を動かなくし、右手で頭の皮を引っ張って目をぱっちり開けさせ、目薬を滴下する。(写真2)

2. ネコのお口の開け方(投薬)



左手(利き手でない方の手)で頭を動かさないように保定します。(写真3)

右手の指先で口を開かせます。(写真4)

錠剤の場合には、口の奥(下の真ん中より喉の近く)の真ん中に入れます。(写真5)

口を閉じさせ頭を上向かせて喉をさするようにすると飲み込みます。
この時に、ちゃんと飲み込んでいるか確認をしましょう。
粉薬の場合には、何かに混ぜてペースト化して鼻や唇の内側に塗りつけます。



上手く飲ませるコツ

準備はよいかな？

お口の角からほほあたりの骨を目安に「イー！」と言ったときのお顔にしてあげるのよ。
そのまま上方へやや吊り上げるつもりで持ち、もう片方の手をお口の下っ端にあててね。
横から見るとこんな感じ。下っ端を引っ掛けてあごを下げ、上段の手は吊り上げるような気
持ちで猫ちゃんの体をそらせれば、あら不思議。結構お口が上向きで開きます☆

モデル くーちゃん&にゃん吉ちゃん